

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
看護研究方法論	2単位30時間(16コマ) 講義科目	博士前期1年次 前期開講	☑・不可
科目責任者	角濱 春美		
担当者	角濱 春美、出貝 裕子、清水 健史		
<p><b>1. 科目のねらい・目標</b></p> <p>看護研究の基本的な方法、研究過程を習得する。また、既存の研究を批判的に分析し、研究を臨床実践に活用する能力を修得する。</p> <p>&lt;到達目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護研究の意義と動向を理解し、科学的思考法について理解できる。</li> <li>2. 研究デザイン、研究方法について理解し、正しく論文を読むことを通し、研究実践ができる基礎的能力を習得する。</li> <li>3. 研究成果を活用するにあたり必要なクリティーク能力を身に付け、EBPの実践と普及ができる基礎的知識を獲得する。</li> </ol>			
<p><b>2. 授業計画・内容</b></p> <p>1) 授業計画</p> <p>【角濱】 第1-2回 看護研究への導入 看護研究の定義、看護研究の歴史と動向、量的研究・質的研究の概要（1～4章）</p> <p>【清水】 第3-4回 研究のプロセス 研究問題、研究疑問と仮説、関連文献のレビュー、枠組み、研究における倫理(5～9章)</p> <p>【出貝】 第5-6回 量的研究の方法論 非介入研究デザイン、介入研究デザイン、アウトカム研究、ミクストメソッド研究（10・11・13・14章）</p> <p>【清水】 第7-8回 質的研究の方法論（12章）</p> <p>【出貝】 第9-10回 量的研究方法論 サンプリング、量的測定概念、測定方法（15～17章）</p> <p>【角濱】 第11-12回 エビデンスに基づくヘルスケアへの統合 批判的吟味、エビデンスの統合（18・19章）</p> <p>【出貝】 第13-14回 データ収集と分析（統計解析） データ収集と管理、統計解析概論、統計手法、研究結果の解釈（20～26章）</p> <p>【角濱】 第15-16回 研究知見を広める、研究計画書の作成 27・28章 事例研究の方法論 科学的事例研究、事例研究の型、看護理論の活用</p> <p>2) 授業内容 学生によるプレゼンテーションを主体とした授業を行う</p>			

<p><b>3. 教科書、参考書</b></p>
<p>＜教科書＞  J.R.Gray&amp;S.K.Grove 著、黒田裕子ら監訳（2023）：バーンズ&amp;グローブ看護研究入門原著第9版 評価・統合・エビデンスの生成、エルゼビアジャパン、ISBN 978-4860347949</p> <p>＜参考書＞  D.F.ポーリット&amp;C.T.ベック著、近藤潤子監訳（2010）：看護研究－原理と方法 第2版、医学書院、2010. ISBN 978-4-260-00526-5  これ以外は授業で随時紹介する。</p>
<p><b>4. 成績評価方法</b>  プレゼンテーションの内容と方法（50%）、看護研究に関わる基礎知識を要約するレポート（50%）で評価する。</p>
<p><b>5. 受講要件</b>  なし</p>
<p><b>6. 社会人学生に対する配慮</b>  夜間、土日開講とする。学生及び教員の要望により、リモートでの同時双方向型授業を行う</p>
<p><b>7. その他</b>  webex のチーム機能を用いてプレゼン資料の共有やリモート授業を行います</p>